

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	自主防災組織等育成事業(自助・共助力の強化)		
担当課名	危機管理課		
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 防災訓練等を通じて地域防災力の向上を図る。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○自主防災組織カバー率 98.0% 【達成値(R7実績値)】 ○自主防災組織カバー率 97.3%	■具体的取組 ・自主防災組織活動助成金事業 ・防災出前講座 ・避難行動要支援者支援事業説明会 ・土砂災害警戒区域の対象地区による防災まち歩き訓練 ・防災講演会 ・防災土育成講座受講補助金 ・家具類転倒防止対策促進事業 ・市全体での防災訓練 ・災害ボランティア運営訓練 ・コミュニティ協議会が行う防災研修の支援 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ・報償費 60千円 ・委託料 1,005千円 ・助成金等 5,315千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ・自主防災組織活動の助成 143 団体 ・防災出前講座 5 回 ・避難行動要支援者支援事業説明会 9 回 ・土砂災害警戒区域の対象地区による防災まち歩き訓練 1 回 ・防災講演会 1 回 ・防災土育成講座受講補助金 4 名 ・家具類転倒防止対策促進事業 3 世帯 ・市全体での防災訓練 ・災害ボランティア運営訓練 2 回 ・コミュニティ協議会が行う防災研修の支援 12 回	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 自主防災組織活動助成事業、防災出前講座等を引き続き行い、地域における自助・共助力の強化を図った。成果指標である自主防災組織カバー率は、各年4月1日の住民基本台帳に基づく総世帯数に対する自主防災組織が組織されている地域の世帯数の割合である。行政区の設定等により実情と誤差はあるものの、令和7年度は97.3%と目標値の98.0%を下回った。高齢化や世帯減少が進む地区での組織存続が課題である。	■検証結果を受けての具体的対応 市全体の防災訓練は地震用マイタイムライン作成訓練、防災まち歩き訓練、災害ボランティア運営訓練等の多様な取組を通じて地域の防災意識・知識の向上を図った。実際に訓練することや講演会に参加することは、情報の共有や市民の防災意識・知識の向上を図るうえで最も効果的であることから、訓練や講演内容の充実を図っていく。また、指定避難所ごとの避難所運営マニュアルを自主防災組織等と協議し作成していく。 自主防災組織の活動助成等により、自主防災組織の存続と活性化を図るとともに、出前講座、広報活動等により、自主防災組織の重要性を周知していく。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。